

**令和7年度 江別市総合戦略事業
【新しい地方経済・生活環境創生交付金活用事業】 一覧**

資料3 一覧表

【第2世代交付金】

(単位:円)

事業名		申請 形態	交付対象 事業費	交付決定額	交付金実績額	江別市総合戦略の位置付け
①	えべつシティプロモーション高度化プロジェクト 【継続事業:1年目】※ソフト事業	単独	23,565,000	11,782,000	11,753,835	基本目標2 えべつへの新しい人の流れをつくる
②	歴史的建造物を活用した販わい創出事業 (旧岡田住宅改築事業) 【継続事業:1年目】※拠点整備事業	単独	24,508,000	12,254,000	9,806,500	基本目標1 持続可能で元気な経済をつくる
合 計		-	48,073,000	24,036,000	21,560,335	-

【デジタル実装型】

(単位:円)

事業名		申請 形態	交付対象 事業費	交付決定額	交付金実績額	江別市総合戦略の位置付け
①	認定審査会システム導入事業	単独	10,299,000	5,149,000	4,047,751	※
②	協働学習ツールの導入による協働的な学びの充実事業	単独	29,370,000	14,685,000	13,216,500	※
③	キャッシュレス決済導入事業	単独	4,563,000	2,281,000	1,781,357	※
合 計		-	44,232,000	22,115,000	19,045,608	-

・令和7年度【地域防災緊急整備型及び地域産業構造転換インフラ整備推進型交付金活用事業】は該当事業なし。
 ・旧制度のデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ)活用事業である「登録有形文化財北海道林木育種場旧庁舎のリノベーションによる企業誘致拠点施設整備事業(令和3年度)」及び「江別市旧町村農場保存活用推進事業(令和5年度)」は、KPI管理に関する実績調査を5年間行う。

※ 位置付けなし。当該事業は地方版総合戦略への記載を申請要件としていないため。

令和7年度 江別市総合戦略事業【新しい地方経済・生活環境創生交付金活用事業】実績

資料3 第2世代交付金

えべつシティプロモーション高度化プロジェクト 【継続事業：1年目】※ソフト事業	交付決定額 (円)	交付金 実績額 (円)	事業KPI	事業開始前 (申請時)	重要業績評価指標 (KPI) 令和7年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和8年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和9年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和10年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和11年度実績値	令和9年度 目標値	実績値を踏まえた 令和8年度以降の取組方針について
令和7年度事業内容等											
・魅力発信コンテンツ制作等事業 13,977千円 ○当市の魅力をPRするTVや動画コンテンツの制作や放送の実施。また、札幌市中心部でのデジタルサイネージやSNSでの配信を行う。	11,782,000	11,753,835	本取組による移住者数	0人	31人 【31人】	-	-			102人 【累計】	・魅力発信コンテンツでR7に制作された動画等のコンテンツはSNSやデジタルサイネージで魅力発信に活用する。
・まちづくりアドバイザー活動事業 5,940千円 ○当市の魅力PR全般や、ふるさと納税返礼品の開発のほか、庁内各部署の「情報発信」についてアドバイスを行う。また、YouTube等のSNSによる地域の魅力発信にも携わる。			移住定住に関する相談件数	130件	93件	-	-			173件	・まちづくりアドバイザーの人間性や技術、まちへの深い洞察を生かし、市民参加型トークショーを開催することで、シビックプライドを含むまちの魅力を発信する市民全体の機運を高める。
・ラジオ情報発信番組制作放送事業 3,760千円 ○ラジオ番組内に情報発信コーナーを設け、当市の魅力をPRする。地域の魅力を実感できるイベントや取組みが紹介される枠組みを形成する。			ふるさと納税者数	17,114人	19,803人 ※R8.7.1時点で 集計	-	-			18,699人	・前年の取組みから「クリエイター」の持つ「デザイン」や「コミュニティー」の力が情報発信に大きな力を発揮することが分かった。市内のクリエイターを結集するチームを編成し、生活都市としての魅力をInstagramを中心に発信する。
			移住ポータルサイトの閲覧数	66,848回	65,992回	-	-			88,975回	・特に住宅取得を検討する前段階である大都市圏の20代から30代女性を対象に、文化的にも魅力にあふれるまちとして、ブランディングを行う。

歴史的建造物を活用した賑わい創出事業（旧岡田住宅改築事業） 【継続事業：1年目】※拠点整備事業	交付決定額 (円)	交付金 実績額 (円)	事業KPI	事業開始前 (申請時)	重要業績評価指標 (KPI) 令和10年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和11年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和12年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和13年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和14年度実績値	令和14年度 目標値	令和8年度以降の取組方針について
令和7年度事業内容等											
嘗て、舟運と鉄道の結節点として栄えた江別駅周辺の歴史を物語る旧岡田住宅を改築し、旧岡田倉庫と一体的に活用することで、歴史・文化の発信拠点にするとともに、地域観光・まちづくりの拠点と位置づけ、周辺の観光資源などを巻き込んだ新たな人の流れを創出する。 本施設の整備により、歴史性を活かしたコンテンツとして中心的役割を担い、観光入込客数の増加が期待できる。	12,254,000	9,806,500	本施設の来場客数	0人	-	-	-	-	-	22,800人	（1）方針 令和8年度整備を行う旧岡田住宅は、旧岡田倉庫に隣接しており、和室がある北東側の平屋部分（東棟）と西側の2階建部分（西棟）で構成され、平成10（1998）年に旧岡田倉庫とともに市に寄贈されたものであるが、これまで十分な活用がされておらず、国土交通省における整備区域外（隣地）に位置する施設である。そのため、国土交通省事業による旧岡田倉庫の整備と、本事業による旧岡田住宅の整備を一体的に実施し、歴史・文化の発信拠点とするともに、飲食店等の入居が可能で、利活用の利便性や効果を最大限発揮するような改築を行うことで、江別地区の賑わい創出の拠点とする。
【事業概要】 JR江別駅周辺の歴史を物語る「旧岡田住宅」の改築工事（1年目）を実施する。 改築にあたっては、建物の意匠に考慮するとともに一部の部材は再利用することで、街並みや歴史性を活かした施設とする。			JR江別駅の乗降客数	1,081千人	-	-	-	-	-	1,085千人	（2）施設の利活用方法 ・改築にあたっては、歴史的に価値のある部材を可能な限り再利用し、歴史性を維持する。 ・テナントとして、飲食店や物販等の入居を想定する。 ・飲食店では、江別産農産物を使用したメニューを提供することで、江別産品のPRと消費拡大を行う。 ・インバウンド向けに、アウトドアグッズや冬場のスノーシューツアー等を企画し、体験後は飲食店で体を温めるメニューを提供する。 ・物販では、北海道産や江別産の素材にこだわった土産（食品やサウナグッズ、アウトドアグッズ等）を開発し販売する。 ・市内の陶芸作家の作品やまちなかアートと連携したアート作品の展示などにより、市民や来場者が市内の文化芸術に触れる機会を創出する。 ・周辺観光の拠点として、周辺観光のモデルコースやウォーキングコース、サイクリングコースなどに本施設を加えることで、公共交通の利用促進や地域全体の賑わい創出に繋げる。
【拠点整備事業経費】 ○既存建築物の解体 41,000千円			本施設における新規雇用者数	0人	-	-	-	-	-	13人 【累計】	（3）江別市の課題解決への寄与 本事業による旧岡田住宅の改築は、前述のかまちづくり計画の一環として開発を行うエリアに所在しているため、改修の効果は市全体に波及し、江別市の課題解決に寄与する。
			施設一帯におけるイベント開催数	0回	-	-	-	-	-	20回 【累計】	

令和7年度 江別市総合戦略事業【新しい地方経済・生活環境創生交付金活用事業】実績

資料3 デジタル実装型

認定審査会システム導入事業	交付決定額 (円)	交付金 実績額 (円)	事業K P I	事業開始前 (申請時)	重要業績評価指標 (KPI) 令和7年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和8年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和9年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和10年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和11年度実績値	令和9年度 目標値	令和8年度以降の取組方針について
令和7年度事業内容等											
申請数の増加や紙媒体で認定審査会を行っているため業務量が増大しており、認定までに要する日数が長期化し、介護保険サービスや障害福祉サービスを利用したい対象者に対し適切・迅速なサービス利用に繋げることができないという課題がある。課題解決のためのシステムを導入し、本システム導入により認定審査会においてDXを推進し、介護認定・障害支援区分認定の迅速化・適正化を図り、上記サービスが必要な市民へのサービス向上を実現する。	5,149,000	4,047,751	【介護】一次判定日から認定に要した日数	13.4日	12.9日	-	-			12日	令和7年度に実施した内容と同様、事業担当部署とシステム関連事業者が密に連携を図り、適正なシステム運用の実現に向けた情報交換を継続していく。具体的には、システムの利用に関する改善点等をフィードバックし、より円滑な運用を目指すこととする。 また、認定審査件数の増加に対応するため、システムを実際に利用する認定審査会委員に対して、必要な情報とサポートの提供を行いながら、システム運用等の理解を深めてもらい、より効率的な審査会を実施していくこととする。
			【障害】新規申請のうち障害区分認定申請から認定に要した日数	77.00日	72.48日	-	-			71.00日	
			審査会資料のペーパーレス化の達成率	0%	12%	-	-			80%	
協働学習ツールの導入による協働的な学びの充実事業	交付決定額 (円)	交付金 実績額 (円)	事業K P I	事業開始前 (申請時)	重要業績評価指標 (KPI) 令和7年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和8年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和9年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和10年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和11年度実績値	令和9年度 目標値	令和8年度以降の取組方針について
令和7年度事業内容等											
ICT機器を使った効果的な「考えの共有」を行うため、協働学習ツールを導入し、児童生徒同士の協働学習を支援することで、他者の考えや見方などを共有・理解して新たな気づきを得るといった協働的な学びの充実を目指す。	14,685,000	13,216,500	児童生徒がICTを活用した協働的な学びの活動数	5,340人	3,048人	-	-			6,230人	現在の推進体制において、担当課内及び関連部署間の情報共有や人員確保は問題ない状況で事業を進められており、サービス提供事業者とも円滑に連携を図れているため、大きな課題となるような事案は生じていない状況であることから、今後も現状の体制維持に努めつつ、市内小中学校からの機能改善に関する要望に対して適切に対応する他、よりシステムの利活用を進められるような研修会を、システム提供事業者と連携して企画・開催していけるように努める。
			児童生徒の利用満足度	83.9%	83.5%	-	-			88.0%	
			協働的な学びを進めるため活用したICTの利用状況	71.0%	72.4%	-	-			85.0%	
キャッシュレス決済導入事業	交付決定額 (円)	交付金 実績額 (円)	事業K P I	事業開始前 (申請時)	重要業績評価指標 (KPI) 令和7年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和8年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和9年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和10年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和11年度実績値	令和9年度 目標値	令和8年度以降の取組方針について
令和7年度事業内容等											
市役所本庁舎（戸籍住民課、市民税課）及び大麻出張所にキャッシュレス決済端末を、交付件数が多い戸籍住民課と大麻出張所にはセルフレンジも合わせて導入する。 これにより、市民は手持ちの現金を気にせずに証明書等の取得が可能となり、利便性が向上されるほか、非接触のため感染リスクの低減につながる。また、窓口の対応時間の短縮及び公金の集計業務の効率化を図る。	2,281,000	1,781,357	キャッシュレス決済の利用率	-	21.1%	-	-			20.0%	人事異動により、連携部署（実装サービス実施部署）の中にはメインで関わっていた職員が今年度から不在となった課がある。また、各課とも導入に関わっていた職員以外への業務の引き継ぎは課題である。 令和8年度は、引き続き庁内LANを用いた情報共有を行うとともに、本業務に携わる職員以外にも必要な情報が入手しやすいよう資料をまとめていく。KPIの設定・実績確認は実施担当課で行ってきたが、KPI②が未達成であったため、連携部署と協力しながら改善策を考案していく。
			アンケート調査による市民の満足度	-	68.8%	-	-			85.0%	

令和7年度 江別市総合戦略事業【デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）活用事業】実績

資料3 地方創生拠点整備タイプ

登録有形文化財北海道林育種場旧庁舎のリノベーションによる企業誘致拠点施設整備事業 【令和3年度交付金活用事業】	交付決定額 (円)	交付金 実績額 (円)	事業K P I	事業開始前 (申請時)	重要業績評価指標 (KPI) 令和3年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和4年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和5年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和6年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和7年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和8年度実績値	令和8年度 目標値	実績値を踏まえた 令和8年度取組方針について
令和7年度事業内容等												
入居する企業による本格的な利活用が令和4年度から始まり、入居企業との共同により建物歴史セミナー、大学生生活セミナー、コワーキングビジネス体験会の3事業を実施した。 また、令和6年度から、地元食材などを使用した商品開発を行なっている。	【令和3年度整備完了】 【5年間のK P I 管理】		北海道林育種場旧庁舎に入居する企業が地元食材などを使用して開発した製品数	0件	0件 【累計】 0件	0件 【累計】 0件	0件 【累計】 0件	3件 【累計】 3件	2件 【累計】 5件	－	6件 【累計】	令和8年度以降も、引き続き、建物歴史セミナー、大学生生活セミナー、コワーキングビジネス体験会の3事業を実施し、今後の市民、大学研究者や学生、ノマドワーカーなどの活用につなげる。 また、地元食材などを使用した商品開発、市内大学からのインターンシップの受け入れについて、必要に応じて入居する企業と関係先との連絡調整を行い、取組の推進を図る。
			北海道林育種場旧庁舎に入居する企業で働く従業員数	0人	0人	23人	39人	43人	39人	－	31人	
			北海道林育種場旧庁舎に入居する企業が市内大学からインターンシップ等を受け入れた人数	0人	0人 【累計】 0人	15人 【累計】 15人	31人 【累計】 46人	44人 【累計】 90人	40人 【累計】 130人	－	30人 【累計】	

江別市旧町村農場保存活用推進事業 【令和5年度交付金活用事業】	交付決定額 (円)	交付金 実績額 (円)	事業K P I	事業開始前 (申請時)	重要業績評価指標 (KPI) 令和5年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和6年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和7年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和8年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和9年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和10年度実績値	令和10年度 目標値	実績値を踏まえた 令和8年度取組方針について
令和7年度事業内容等												
リニューアルオープン2年目となる令和7年度は、ホームページやリーフレットのほか、SNSを活用した視覚的な魅力とリアルタイムな情報発信を積極的に行い、施設の認知度向上と来館者の増加を図った。 また、えべつ観光協会と連携した事業を多数企画、実施し、集客の向上に努めた。	【令和5年度整備完了】 【5年間のK P I 管理】		江別市旧町村農場で販売する特産品等売上額	68,018円	【リニューアル 工事実施】	8,523,275円	7,583,340円	－	－	－	17,150,000円	令和8年度は、引き続きホームページやリーフレットのほか、SNSを活用した視覚的な魅力とリアルタイムな情報発信を積極的に行い、施設の認知度向上と来館者の増加を図っていく。 また、えべつ観光協会との連携に加え、他の観光関連施設や近隣の商業施設等とも連携してイベントを企画・実施し、集客や売店の売上向上につなげるとともに、来館者の市内周遊を促す取り組みを進める。
			江別市旧町村農場への年間来館者数	4,855人	【リニューアル 工事実施】	20,952人	25,071人	－	－	－	24,500人	
			江別市旧町村農場で実施されるイベントの開催数	1回	【リニューアル 工事実施】	19回	22回	－	－	－	60回	
			江別市旧町村農場への来館者数のうち、市内の他の観光施設等に周遊した（する）人数	0人	【リニューアル 工事実施】	12,466人	18,993人	－	－	－	22,000人	